

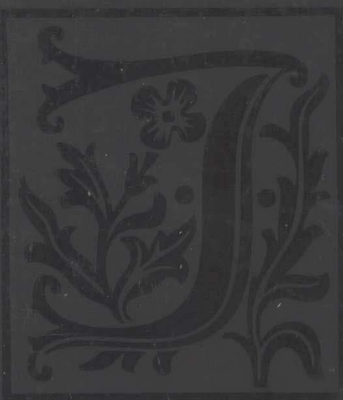
谭晶华 主编



文·学·辞·典·系·列

日本文学辞典

作·家·与·作·品



日本文学辞典・作家与作品

谭晶华 主编

復旦大學出版社

图书在版编目(CIP)数据

日本文学辞典·作家与作品/谭品华主编. —上海:复旦大学出版社, 2013. 1
ISBN 978-7-309-06783-5

I. 日… II. 谭… III. 文学-日本-词典 IV. I313.06-61

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2009)第 124155 号

日本文学辞典·作家与作品

谭品华 主编

特约编辑/荣 奇

复旦大学出版社有限公司出版发行

上海市国权路 579 号 邮编:200433

网址: fupnet@fudanpress.com <http://www.fudanpress.com>

门市零售:86-21-65642857 团体订购:86-21-65118853

外埠邮购:86-21-65109143

江苏省句容市排印厂

开本 890×1240 1/32 印张 21.5 字数 527 千

2013 年 1 月第 1 版第 1 次印刷

ISBN 978-7-309-06783-5/I·507

定价: 68.00 元

如有印装质量问题, 请向复旦大学出版社有限公司发行部调换
版权所有 侵权必究

参 编 人 员

主 编：谭晶华

副主编：康 林

编 者：（按姓氏笔画排序）

李雁楠 吴芳玲 杨文瑜 邱 岭

邹 波 高 洁 康 林 谭晶华

序

日本文学至今已有一千多年的历史。在漫长的发展过程中,日本古代文学深受中国文学的影响,并在此基础上,逐步形成了和歌、物语等本民族独自的文学样式,以及幽玄、物哀等本民族鲜明而又独特的文学审美情趣。明治维新以后,日本将学习的目光转向西方,并在借鉴、吸收西方文艺理念的基础上,实现了对本民族传统文学样式的改良,完成了从封建文学向近代文学的转变。自此,日本近现代文学的发展几乎与西方同步,并在与西方文化频繁交流、不断碰撞的过程中,走出了一条既注重现代气息,又不失浓厚民族特色的文学创作之路,孕育出了川端康成、大江健三郎两位诺贝尔文学奖得主,以及村上春树等广受世界各国读者欢迎的现代作家,向世人展示了日本文学多元融合的个性化魅力。不仅如此,日本近现代文学还改变了自古以来中日文学交流过程中,总是中国文学单向输出日本的交流模式。日本近现代文学既为中国近现代文学学习西方文学承担了媒介与桥梁作用,更为中国近现代文学思潮的形成和发展起到了启发和示范作用。

尽管日本文学不愧为世界文学宝库中的一朵奇葩,并且与中国文学有着千丝万缕的联系,但是,长期以来,由于种种原因,我国并不十分重视对日本文学的译介和研究。除了“五四”新文化运动时期,出现过一次短暂的译介日本文学的高潮外,直到1972年,中日两国恢复邦交,特别是进入20世纪80年代,日本作为世界经济强国被国人所熟知后,我国译介、研究日本文学的第二次高潮才逐渐形成。如今,已有不少日本文学名家的作品被翻译介绍到我国,甚至是有些日本当代作家的作品刚在日本出版,不久就被翻译成中文与我国读者见面;同时,有关日本文学

的研究专著和论文出版数等也呈逐年上升趋势。

然而,在种类繁多的有关日本文学的出版物中,尚缺一本理想、实用的工具书。为此,我们特意推出这本《日本文学辞典——作家与作品》,旨在为我国外国文学专业、日本文学专业的大学生、研究生,以及广大的日本文学爱好者、研究人员,提供一本简便的案头参考书,以方便大家尽可能全面地了解日本文学的概况,体会和把握日本文学的本质特征。

本辞典收录的基本上是日本的主流作家以及被广泛阅读的重要作品,其中不仅包括著名的小说家、诗人、戏剧家及其作品,还有著名的文艺评论家、散文家及其代表作。对于词条的选定,难免带有个人倾向,但我们的原则是竭力寻求基本的认同范围,同时,充分考虑中国学生和学者的关注兴趣。

本辞典具有以下几个方面的特征。

1. 共收录作家和作品词条 604 个,其中上代文学词条 10 个,中古文学词条 40 个,中世文学词条 41 个,近世文学词条 51 个,近现代文学词条 462 个。

2. 每一词条设为一页。

3. 按作家的汉译姓氏拼音排序;作品词条紧随其后,且按出版年代的先后排序。如有无作者或作者名不详之作品,则以作品的汉译名称拼音参与排序。

4. 作家词条主要介绍其生平和创作;评语力求客观、简明,切中要点。

5. 作品词条主要提供故事或内容梗概,兼顾必要的创作信息和扼要、公正的评述。

6. 当代作家和作品的相关信息跟踪至 2008 年。

7. 每一词条后的括号内,均记载有该词条的日文名称及日文读音,以便于使用者根据日文原文,查找其他相关的日文资料。

8. 辞典后附有《中日文学大事记对照表》。

参加本辞典编写的各位编者,均是在我国高校长期从事日本文学教学和研究工作的专家学者。同时,范闽仙(已故)、饶雪梅、刘海军等同志也参与了少数词条的编写和修订工作;朱倩同志制作了附表《中日文学大事记对照表》。对他们的辛勤劳动,在此一并表示感谢。我们还要由衷地感谢复旦大学出版社的领导和编辑,在本辞典的策划、编写、编辑、审定过程中,他们都给予了大力的支持和热情的合作。没有他们的敬业和努力,就没有本辞典的成型和面世。由于自身业务水平等方面的原因,本辞典难免会有不妥不当之处,敬请同行、专家以及读者批评指正。

编 者

2009年12月于上海

目 录

- 菊池寛（菊池寛 きくちかん,1888—1948）／1
《不计恩仇》（「恩讐の彼方に」 おんしゅうのかなたに,1919）／2
《珍珠夫人》（「真珠夫人」 しんじゅふじん,1920）／3
《父归》（「父帰る」 ちちかえる,1917）／4
久米正雄（久米正雄 くめまさお,1891—1952）／5
《私小说与心境小说》（「私小説と心境小説」 ししょうせつとしんきょうしょうせつ,1925）／6
山本有三（山本有三 やまもとゆうぞう,1887—1974）／7
《直奔真实》（「真実一路」 しんじついちろ,1935）／8
《路旁之石》（「路傍の石」 ろぼうのいし,1937）／9
宇野浩二（宇野浩二 うのこうじ,1891—1961）／10
《仓库里》（「蔵の中」 くらの中,1919）／11
佐藤春夫（佐藤春夫 さとうはるお,1892—1964）／12
《殉情诗集》（「殉情詩集」 じゅんじょうししゅう,1921）／13
《都市的忧郁》（「都会の憂鬱」 とかいのゆううつ,1922）／14
徳永直（徳永直 とくながなおる,1899—1958）／15
《没有太阳的街》（「太陽のない街」 たいようのないまち,1929）／16
宮本百合子（宮本百合子 みやもとゆりこ,1899—1951）／17
《伸子》（「伸子」 のぶこ,1924—1926）／18
《一九三二年的春天》（「一九三二年の春」 せんきゅうひゃくさんじゅうにねんのはる,1932）／19
《播州平原》（「播州平野」 ばんしゅうへいや,1946—1947）／20
小林多喜二（小林多喜二 こばやしたきじ,1903—1933）／21
《蟹工船》（「蟹工船」 かにこうせん,1929）／22

- 《党生活者》（「黨生活者」　とうせいかつしゃ,1933）／23
- 叶山嘉树（葉山嘉樹　はやまよしき,1894—1945）／24
- 《生活在海洋上的人们》（「海に生くる人々」　うみにいくるひとびと,1926）／25
- 《水泥桶里的一封信》（「セメント樽の中の手紙」　せめんとたるのなかのてがみ,1926）／26
- 横光利一（横光利一　よこみつりいち,1898—1947）／27
- 《蝇》（「蠅」　はえ,1923）／28
- 《机械》（「機械」　きかい,1930）／29
- 《家徽》（「紋章」　もんしょう,1934）／30
- 《旅愁》（「旅愁」　りよしゅう,1937—1946）／31
- 《上海》（「上海」　しゃんはい,1928—1931）／32
- 井伏鱒二（井伏鱒二　いぶせますじ,1898—1993）／33
- 《山椒鱼》（「山椒魚」　さんしょううお,1923—1929）／34
- 《遥拜队长》（「遥拝隊長」　ようはいたいちょう,1950）／35
- 《黑雨》（「黒い雨」　くろいあめ,1965—1966）／36
- 堀辰雄（堀辰雄　ほりたつお,1904—1953）／37
- 《起风了》（「風立ちぬ」　かぜたちぬ,1936—1938）／38
- 《圣家族》（「聖家族」　せいかぞく,1930）／39
- 《菜穗子》（「菜穂子」　なおこ,1941）／40
- 伊藤整（伊藤整　いとうせい,1905—1969）／41
- 《幽鬼的街市》（「幽鬼の街」　ゆうきのまち,1937）／42
- 《鸣海仙吉》（「鳴海仙吉」　なるみせんきち,1946—1948）／43
- 《火鸟》（「火の鳥」　ひのとり,1949—1953）／44
- 《日本文坛史》（「日本文壇史」　にほんぶんだんし,1952—1978）／45
- 太宰治（太宰治　だざいおさむ,1909—1948）／46
- 《斜阳》（「斜陽」　しゃよう,1947）／47
- 《丧失为人资格》（「人間失格」　にんげんしっかく,1948）／48
- 大冈升平（大岡昇平　おおおかしょうへい,1909—1988）／49
- 《俘虏记》（「俘虜記」　ふりよき,1948）／50

- 《野火》（「野火」 のび,1951）／51
- 《武藏野夫人》（「武蔵野夫人」 むさしのふじん,1950）／52
- 《花影》（「花影」 かえい,1958—1959）／53
- 野间宏（野間宏 のまひろし,1915—1991）／54
- 《阴郁的画》（「暗い絵」 くらいえ,1946）／55
- 《真空地带》（「真空地帯」 しんくうちたい,1952）／56
- 《青年之环》（「青年の環」 せいねんのわ,1947—1970）／57
- 三岛由纪夫（三島由紀夫 みしまゆきお,1925—1970）／58
- 《金阁寺》（「金閣寺」 きんかくじ,1951）／59
- 《潮骚》（「潮騒」 しおさい,1954）／60
- 《丰饶之海》（「豊饒の海」 ほうじょうのうみ,1965—1971）／61
- 开高健（開高健 かいこうたけし,1930—1989）／62
- 《恐慌》（「恐慌」 パニック,1957）／63
- 《裸体皇帝》（「裸の王様」 はだかのおおさま,1957）／64
- 远藤周作（遠藤周作 えんどうしゅうさく,1923—1996）／65
- 《白人》（「白い人」 しろいひと,1955）／66
- 《海与毒药》（「海と毒薬」 うみとどくやく,1957）／67
- 《沉默》（「沈黙」 ちんもく,1966）／68
- 柴田翔（柴田翔 しばたしょう,1935—）／69
- 《别了,我们的生活》（「别了,我们的生活」 されどわれらが日々
ター されどわれらがひび,1963）／70
- 田久保英夫（田久保英夫 たくぼひでお,1928—2001）／71
- 《深河》（「深い河」 ふかいかわ,1969）／72
- 野坂昭如（野坂昭如 のさかあきゆき,1930—）／73
- 《萤火虫之墓》（「螢の墓」 ほたるのはか,1967）／74
- 二叶亭四迷（二葉亭四迷 ふたばていしめい,1864—1909）／75
- 《浮云》（「浮雲」 うきぐも,1887）／76
- 《小说总论》（「小説総論」 しょうせつそうろん,1886）／77
- 坪内逍遙（坪内逍遙 つばうちしょうよう,1859—1935）／78
- 《小说神髓》（「小説神髓」 しょうせつしんずい,1885—
1886）／79

- 假名垣鲁文（仮名垣魯文 かながきろぶん,1829—1894）／80
《牛肉火锅》（「安愚楽鍋」 あぐらなべ,1871—1872）／81
幸田露伴（幸田露伴 こうだろはん,1867—1947）／82
《五重塔》（「五重塔」 ごじゅうとう,1891—1892）／83
《风流佛》（「風流仏」 ふうりゅうぶつ,1889）／84
樋口一叶（樋口一葉 ひぐちいちよう,1872—1896）／85
《青梅竹马》（「竹比べ」 たけくらべ,1895—1896）／86
岛崎藤村（島崎藤村 しまざきとうそん,1872—1943）／87
《破戒》（「破戒」 はかい,1906）／88
《家》（「家」 いえ,1910—1911）／89
《黎明前》（「夜明け前」 よあけまえ,1929—1935）／90
《藤村诗集》（「藤村詩集」 とうそんししゅう,1904）／91
尾崎红叶（尾崎紅葉 おざきこうよう,1867—1903）／92
《二尼姑情悔录》（「二人比丘尼色懺悔」 ににんびくにいろざんげ,1889）／93
《金色夜叉》（「金色夜叉」 こんじきやしゃ,1897—1903）／94
德富芦花（徳富蘆花 とくとみろか,1868—1927）／95
《不如归》（「不如帰」 ほととぎす,1898—1899）／96
《自然与人生》（「自然と人生」 しぜんとじんせい,1900）／97
国木田独步（国木田独歩 くにきだどつぽ,1871—1908）／98
《少年的悲哀》（「少年の悲哀」 しょうねんのひあい,1902）／99
《武藏野》（「武蔵野」 むさしの,1898）／100
泉镜花（泉鏡花 いずみきょうか,1873—1939）／101
《高野山圣僧》（「高野聖」 こうやひじり,1900）／102
《妇系图》（「婦系図」 おんなけいず,1907）／103
田山花袋（田山花袋 たやまかたい,1871—1930）／104
《棉被》（「蒲団」 ふとん,1907）／105
《乡村教师》（「田舎教師」 いなかきょうし,1909）／106
德田秋声（徳田秋声 とくだしゅうせい,1871—1943）／107
《霉》（「黴」 かび,1911）／108

- 《缩影》（「縮図」 しゅくず,1941）／109
- 正宗白鸟（正宗白鳥 まさむねはくちょう,1879—1962）／110
- 《向何处去》（「何処へ」 どこへ,1908）／111
- 夏目漱石（夏目漱石 なつめそうせき,1867—1916）／112
- 《哥儿》（「坊っちゃん」 ぼっちゃん,1906）／113
- 《我是猫》（「吾輩は猫である」 わがはいはねこである,1905—1906）／114
- 《三四郎》（「三四郎」 さんしろう,1908）／115
- 《从此以后》（「从此以后」 それから,1909）／116
- 《心》（「心」 こころ,1914）／117
- 《明暗》（「明暗」 めいあん,1916）／118
- 森鷗外（森鷗外 もりおうがい,1862—1922）／119
- 《舞姫》（「舞姫」 まいひめ,1890）／120
- 《性生活》（「性生活」 キターセクスアリス,1909）／121
- 《雁》（「雁」 がん,1911—1913）／122
- 《高瀬舟》（「高瀬舟」 たかせぶね,1916）／123
- 《涇江抽斎》（「涇江抽斎」 しぶえちゅうさい,1916）／124
- 永井荷风（永井荷風 ながいかふう,1879—1959）／125
- 《地狱之花》（「地獄の花」 じごくのはな,1902）／126
- 《美国故事》（「あめりか物語」 アメリカものがたり,1908）／127
- 《各显神通》（「腕くらべ」 うでくらべ,1916—1917）／128
- 《墨东趣谭》（「墨東綺譚」 ぼくとうきたん,1937）／129
- 谷崎润一郎（谷崎潤一郎 たにざきじゅんいちろう,1886—1965）／130
- 《文身》（「刺青」 しせい,1910）／131
- 《痴人的爱》（「痴人の愛」 ちじんのあい,1924—1925）／132
- 《春琴传》（「春琴抄」 しゅんきんしょう,1933）／133
- 《细雪》（「細雪」 ささめゆき,1943—1947）／134
- 武者小路实笃（武者小路実篤 むしやのこうじさねあつ,1885—1976）／135

- 《天真的人》（「お目出たき人」 おめでたきひと, 1911） / 136
- 《友情》（「友情」 ゆうじょう, 1919） / 137
- 志贺直哉（志賀直哉 しがなおや, 1883—1971） / 138
- 《在城崎》（「城の崎にて」 きのさきにて, 1917） / 139
- 《和解》（「和解」 わかい, 1917） / 140
- 《暗夜行路》（「暗夜行路」 あんやこうろ, 1921—1937） / 141
- 有島武郎（有島武郎 ありしまたけお, 1878—1923） / 142
- 《诞生的苦恼》（「生れ出る悩み」 うまれいづるなやみ, 1918） / 143
- 《一个女人》（「或女」 あるおんな, 1911—1919） / 144
- 长与善郎（長与善郎 ながよしろう, 1888—1961） / 145
- 《竹泽先生》（「竹沢先生と云ふ人」 たけざわせんせいというひと, 1924—1925） / 146
- 芥川龙之介（芥川竜之介 あくたがわりゅうのすけ, 1892—1927） / 147
- 《罗生门》（「羅生門」 らしょうもん, 1915） / 148
- 《鼻子》（「鼻」 はな, 1916） / 149
- 《地狱图》（「地獄変」 じごくへん, 1918） / 150
- 《河童》（「河童」 かっぱ, 1927） / 151
- 《侏儒警句》（「侏儒の言葉」 しゅじゅのことば, 1923—1927） / 152
- 广津和郎（広津和郎 ひろつかずお, 1891—1968） / 153
- 《神经病时代》（「神経病時代」 しんけいびょうじだい, 1917） / 154
- 葛西善藏（葛西善蔵 かさいぜんぞう, 1887—1928） / 155
- 《拖带孩子》（「子を連れて」 こをつれて, 1918） / 156
- 《田园的忧郁》（「田園の憂鬱」 でんえんのゆううつ, 1917—1918） / 157
- 中里介山（中里介山 なかざとかいざん, 1885—1944） / 158
- 《大菩萨岭》（「大菩薩峠」 だいぼさつとおげ, 1913—1941） / 159

- 中野重治 (中野重治 なかのしげはる, 1902—1979) / 160
《与短歌的诀别》(「歌のわかれ」 うたのわかれ, 1939) / 161
黒島伝治 (黒島伝治 くろしまでんじ, 1898—1943) / 162
《盘旋的鸦群》(「渦巻ける鳥の群」 うずまけるからすのむれ, 1928) / 163
川端康成 (川端康成 かわばたやすなり, 1899—1972) / 164
《伊豆的舞女》(「伊豆の踊子」 いずのおどりこ, 1926) / 165
《雪国》(「雪国」 ゆきぐに, 1935—1937) / 166
《千鹤》(「千羽鶴」 せんばづる, 1949—1951) / 167
《山之声》(「山の音」 やまのおと, 1949—1954) / 168
《古都》(「古都」 こと, 1961—1962) / 169
《睡美人》(「眠れる美女」 ねむれるびじょ, 1960—1961) / 170
梶井基次郎 (梶井基次郎 かじいもとじろう, 1901—1932) / 171
《檸檬》(「檸檬」 れもん, 1925) / 172
中岛敦 (中島敦 なかじまあつし, 1909—1942) / 173
《山月记》(「山月記」 さんげつき, 1942) / 174
《李陵》(「李陵」 りりょう, 1943) / 175
高见顺 (高見順 たかみじゅん, 1907—1965) / 176
《故旧忘得》(「故旧忘れ得べき」 こきゅうわすれえべき, 1936) / 177
《在怎样的星辰下》(「如何なる星の下に」 いかなるほしのもとに, 1939—1940) / 178
阿部知二 (阿部知二 あべともじ, 1903—1973) / 179
《冬之宿》(「冬の宿」 ふゆのやど, 1936) / 180
石川达三 (石川達三 いしかわたつぞう, 1905—1985) / 181
《苍氓》(「蒼氓」 そうぼう, 1935—1939) / 182
尾崎一雄 (尾崎一雄 おざきかずお, 1899—1983) / 183
《悠闲眼镜》(「暢気眼鏡」 のんきめがね, 1933) / 184
丹羽文雄 (丹羽文雄 にわふみお, 1904—2005) / 185
《令人讨厌的年龄》(「厭がらせの年齢」 いやがらせのねんれい, 1947) / 186

- 壺井栄（壺井栄 つばいさかえ,1900—1967）／187
《二十四只眼睛》（「二十四の瞳」 にじゅうしのひとみ,1952）／188
- 石坂洋次郎（石坂洋次郎 いしざかようじろう,1900—1986）／189
《年轻人》（「若い人」 わかいひと,1933—1937）／190
- 北条民雄（北条民雄 ほうじょうたみお,1914—1937）／191
《生命的初夜》（「いのちの初夜」 いのちのしょや,1936）／192
- 坂口安吾（坂口安吾 さかぐちあんご,1906—1955）／193
《白痴》（「白痴」 はくち,1946）／194
《墮落論》（「墮落論」 だらくろん,1946）／195
- 石川淳（石川淳 いしかわじゅん,1899—1987）／196
《普賢》（「普賢」 ふげん,1936）／197
- 上林晓（上林曉 かんばやしあかつき,1902—1980）／198
《在圣约翰医院》（「聖ヨハネ病院にて」 せいヨハネびょういんにて,1946）／199
- 舟桥圣一（舟橋聖一 ふなばしせいいち,1904—1967）／200
《铁石心肠》（「木石」 ぼくせき,1938）／201
- 林芙美子（林芙美子 はやしふみこ,1903—1951）／202
《放浪记》（「放浪記」 ほうろうき,1928—1948）／203
- 原民喜（原民喜 はらたみき,1905—1951）／204
《夏天的花》（「夏の花」 なつのはな,1947）／205
- 松本清张（松本清張 まつもとせいちょう,1909—1992）／206
《点与线》（「点と線」 てんとせん,1957—1958）／207
- 水上勉（水上勉 みななみつとむ,1919—2004）／208
《越前竹偶》（「越前竹人形」 えちぜんたけにんぎょう,1963）／209
- 村上春树（村上春樹 むらかみはるき,1949— ）／210
《挪威的森林》（「ノルウェイの森」 ノルウェイのもり,1987）／211
- 浅井了意（浅井了意 あさいりょうい,1612—1691）／212
《御伽婢子》（「御伽婢子」 おとぎぼうこ,1666）／213

- 上田秋成 (上田秋成 うえだあきなり, 1734—1809) / 214
《雨月物語》(「雨月物語」 うげつものがたり, 1776) / 215
井原西鶴 (井原西鶴 いはらさいかく, 1642—1693) / 216
《好色一代男》(「好色一代男」 こうしょくいちだいおとこ, 1682) / 217
《好色一代女》(「好色一代女」 こうしょくいちだいおんな, 1686) / 218
《好色五人女》(「好色五人女」 こうしょくごにんおんな, 1686) / 219
《世間胸算用》(「世間胸算用」 せけんむねさんよう, 1692) / 220
《日本永代藏》(「日本永代藏」 にっぽんえいたいぐら, 1688) / 221
山本荷兮 (山本荷兮 やまもとかけい, 1648—1716) / 222
《旷野》(「曠野」 あらの, 1689) / 223
向井去来 (向井去来 むかいきょらい, 1651—1704) / 224
《去来抄》(「去来抄」 きょらいしょう, 1702—1704) / 225
《猿蓑》(「猿蓑」 さるみの, 1691) / 226
近松門左衛門 (近松門左衛門 ちかまつもんざえもん, 1653—1724) / 227
《出世景清》(「出世景清」 しゅっせかげきよ, 1685) / 228
《曾根崎情死》(「曾根崎心中」 そねざきしんじゅう, 1703) / 229
《国姓爷大战》(「国姓爺合戦」 こくせんやかっせん, 1715) / 230
《冥府邮差》(「冥途飞脚」 めいどのひきやく, 1711) / 231
《情死天网岛》(「心中天の網島」 しんじゅうてんのあみじま, 1720) / 232
松尾芭蕉 (松尾芭蕉 まつおばしょう, 1644—1694) / 233
《奥之细道》(「奥の細道」 おくのほそみち, 1702) / 234
室鳩巢 (室鳩巢 むろきゅうそう, 1658—1734) / 235

- 《駿台雑話》（「駿台雑話」 すんだいざつわ,1750）／236
- 与謝芜村（与謝蕪村 よさぶそん,1716—1783）／237
- 《新花摘》（「新花摘」 しんはなつみ,1797）／238
- 《春风马堤曲》（「春風馬堤曲」 しゅんぷうばていのきょく,1777）／239
- 本居宣長（本居宣長 もとおりのりなが,1730—1801）／240
- 《玉胜间》（「玉勝間」 たまかつま,1795—1812）／241
- 《源氏物語玉之小梳》（「源氏物語玉の小櫛」 げんじものがたりたまのおぐし,1799）／242
- 十返舎一九（十返舎一九 じっぺんしゃいつく,1765—1831）／243
- 《东海道徒步旅行记》（「東海道中膝栗毛」 とうかいどうちゅうひざくりげ,1802—1822）／244
- 曲亭马琴（曲亭馬琴 きょくていばきん,1767—1848）／245
- 《椿说弓张月》（「椿説弓張月」 ちんせつゆみはりづき,1807—1811）／246
- 《南总里见八犬传》（「南総里見八犬伝」 なんそうさとみはつけんでん,1814—1842）／247
- 式亭三马（式亭三馬 しきていさんば,1776—1822）／248
- 《浮世澡堂》（「浮世風呂」 うきよぶろ,1809—1814）／249
- 契冲（契沖 けいちゅう,1640—1701）／250
- 《万叶代匠记》（「万葉代匠記」 まんようだいしょうき,1688）／251
- 松永贞徳（松永貞徳 まつながていとく,1571—1653）／252
- 《新增犬筑波集》（「新增犬筑波集」 しんぞういぬつくばしゅう,1643）／253
- 西山宗因（西山宗因 にしやまそういん,1605—1682）／254
- 《宗因连歌千句》（「宗因連歌千句」 そういんれんがせんく,1679）／255
- 小林一茶（小林一茶 こばやしいつき,1763—1827）／256
- 《吾之春》（「おらが春」 おらがはる,1852）／257
- 鶴屋南北（鶴屋南北 つるやなんぼく,1755—1829）／258